

**2020年度
事業報告・会計報告**



代表挨拶

2020 年度は 1 年を通じて新型コロナウイルス感染拡大（以下、「コロナ」）禍の中、平時以上に子どもたちを取り巻く 社会が混沌としていた状況でした。オンラインでの支援を行っていることもあり、子どもたちの厳しい現状の訴えは止むことがなく、活動は休止どころか、いつも以上に自分たちの力が試された年でもありました。

実はコロナ禍によってこれまで形にならなかったものが進んだ1年でもありました。何年も前からユースセンター作りを計画してきましたが、NPO ということや、難しさを抱えた子どもの支援を行っていることが高い障壁となり物件探しにも苦労しました。また、子どもたちにとってこういった場所が必要ということが資金調達という観点から十分に伝わらないもどかしさも抱えていました。しかし、コロナ禍で空き物件が増えたり、STAY HOME で苦しい思いをしている子どもたちの現状が社会に伝わり、ユースセンター作りは一気に動き出しました。今回の物件オーナーが、内装費用も負担して下さることになったり、行政や財団・企業等によるコロナの緊急支援金なども出たり、クラウドファンディングも多くのご支援があったおかげで、高い高い壁があったユースセンター作りが、現実のものになったのです。

コロナ禍で様々な厳しさがある中、私たちのそんなチャレンジを信じて、力になっていただいたみなさまには本当に感謝しております。まだ恒常的な補助の枠組みがない中、引き続き様々な支援や寄付を呼びかけながら運営していくことになりますが、ぜひ今後も見守り、応援いただけますと幸いです。

2020 年度収支報告

2020 年度はコロナ禍で、一時的な助成金の公募が様々な企業や財団からありました。オフラインでの支援は感染拡大防止の観点から停止する判断をしたこともありましたが、平時からオンライン支援を行ってきたことから、緊急の助成金等を最大限活用し、平時以上に様々な支援・情報発信を行うことができました。また寄付については、前年度の 1.3 倍に増加となりました。経済的に厳しい 1 年だったにも関わらず、それぞれのみなさまの可能な範囲・形で見守り、応援を続けていただいたこと、とても大きな励みになっております。なお、収支に大きな差があるように見えますが、2021 年 5 月にオープンしたユースセンターおよび事務所移転のための保証金の支払いが経費ではなく資産計上であることや、主に 2021 年度使用のための年度をまたがる助成金の入金があることが 2020 年度にあったことなどが起因しており、実際は収支はほとんど同じという形になっております。詳しい収支報告は以下に記載の、代表森山による 2020 年度の活動報告動画よりご確認ください。

代表森山による 2020 年度の活動報告動画はこちら

令和2年度 事業報告書

特定非営利活動法人 3keys

1 事業の成果

令和2年度は、新型コロナウイルス禍（以下、「コロナ禍」）の中、平時以上に子どもたちを取り巻く社会が混沌としていた状況でした。子どもたちの周囲にいる大人たちも余裕をなくした状況の中、NPOとして何ができるか問われた1年でもありました。

子どもの権利保障推進事業では、主に10代向けの支援サービス検索・相談サイト「Mex（ミークス）」によって、子どもたちのオンラインでのセーフティネット作りを行ってきました。コロナ禍で増えうる虐待やいじめ、性被害などの相談窓口を増やしたり、コロナ禍で変わった支援機関の情報の更新などを行いました。また、支援機関が対応しづらい分野については、ツイキャスやYouTube相談会などを実施し、StayHomeの中でもできる緊急企画を行いました。

また、これまで子どもたちの大きな逃げ場であるオンラインを中心に活動してきましたが、令和3年度にオフラインでのセーフティネット作りとして、子ども向けのユースセンター作りの準備を進めました。物件も決まり、クラウドファンディングを始めとした資金調達も行ったり、スタッフの採用も進め、令和3年度5月オープンを予定しています。

学習支援事業では、虐待で保護された子どもたちへの学習支援を行う「教室型プログラム」を継続して行いました。オリジナル教材の開発や提供を組み合わせることで、学習習慣の定着や、施設職員の負担が減少してきていることを踏まえ、全国の直接支援していない児童福祉施設や、行政の学習支援担当者向けのオンラインでの研修を行いました。全国から74の機関から157名の参加が見られ、その多くが、虐待や育児放棄、中には障害なども抱えている子どもたちの学習支援の難しさに苦戦している様子が伝わりました。今後、教材の展開や、研修の継続などを期待する声も多く、それらの声を踏まえ、事業の展開を検討していく予定です。なお、15歳以上の子どもたちの支援事業「COSTA」は、週1回の開所では時間が合わないケースも多いことも踏まえ、令和3年度にオープンする、ユースセンター（週5日・12～13時間開所予定）に、本事業の一部が引き継がれて、終了となりました。

啓発活動事業では、主に大人向けに子どもたちの現状を知ってもらうための啓発を継続して行いました。コロナ禍で、オフラインでのイベントが開催できなくなったことから、主にオンラインを中心とした啓発・発信を行いました。また、10代向け支援サービス検索・相談サイト「Mex（ミークス）」で利用が多い文部科学省が運営する「24時間子供SOSダイヤル」の全国の実態調査を行い、その速報値を2月に公表しました。子どもたちがより安心して相談窓口を利用するために本調査を活かせるよう、引き続き調査や詳細の内容の公表を予定しています。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【53,499】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
子どもたちに必要な社会資源をコーディネートし子どもたちの自立及び権利保障を充実させる事業(通称:子どもの権利保障推進事業)	1. 10代向け支援サービス検索・相談サイト「Mex（ミークス）」 ・コロナ禍でニーズが増した、虐待やいじめ、心身の不調、性被害などに対応できる相談窓口を増やした ・Mexの掲載基準を作成し、それを満たした「Mex認定サービス」を設置 ・Mexの利用状況を分析し、UI/UXの改善 2. コンテンツ作り ・月に2～3本、10代向けコラムのMex内更新 ・セクシュアリティに関する相談窓口が少ないことを踏ま	1. 通年 2. 通年(個別日程は事業内容内参照) 3. 通年	1. 全国 2. 全国 3. 東京都	1,2 11名 3.5名	1. 10代以下 2. 10代以下 3. 準備事業のため無し	1. 利用者1,791,374名 支援機関コンタクト8,585件 2. ツイキャス参加者数24,489万人	31,078

業)	え、LGBTQ当事者の 20-30 代とツイキャスを実施(4/10、4/17) ・コロナ禍で虐待や自殺したい等の声が増えたことを踏まえ、「Youtube 相談会」の実施 第 1 回目:6/19、6/26「親が重い。逃げたい。親との関係どうしたらラクになる？」相談に乗る人:臨床心理士 信田さよ子氏 第 2 回目:7/19、8/2「人間関係がづらい。自分が分からない。学校ってどれくらい大事？」相談に乗る人:児童精神科医 井上祐紀先生 ・子ども向け啓発動画「ミーのなやみ」のいじめ編(計 3 本)をリリース ・コロナ禍での虐待・性被害の増加を踏まえ、「ミーのなやみ」の家族・親戚編(虐待啓発)、恋人・パートナー編(デートDV 啓発)の広報強化 3. 子ども向けユースセンター準備事業 ・コロナ禍で虐待のニーズが増したことや、学校・家以外の子どものバブリックの居場所が減少したことを踏まえ、ユースセンター準備を加速 ・物件探し、契約 ・ユースセンターオープンに向けた資金調達・クラウドファンディング実施					相談会動画延べ再生回数 43 万回 3. 準備事業のため無し	
格差の下にいる子どもたちをはじめとする、学習機会や学習環境に恵まれない子どもたちのために、学習指導を行うボランティアを育成し、マッチングする事業(通称:学習支援事業)	1. 児童福祉施設向け「教室型プログラム」 ・主に小学生向けに日常的な学習習慣(学習日:週 3 日～週 7 日)作り ・日常的な学習に適した教材の選定・提供(市販、提携教材、オリジナル教材等の組み合わせ) ・子どもたちの学習状況の把握・相談 2. 教材作り ・市販や提携している教材では不足している教材をオリジナルで開発・支援している施設で展開 ・算数教材:小学校 1 年生レベルの補助教材作成 ・英語教材:小学校の必須英単語の動画教材作成(音声付) 3. 学習支援の研修 ・直接支援していない児童養護施設・母子生活支援施設・児童相談所等を対象にオンラインの研修会を実施	1. 通年 2. 通年 3. 2020 年 10 月 21 日、11 月 2 日(2 回)	1. 東京都・神奈川県 2. 東京都 3. 全国	4 名	1. 児童養護施設および母子生活支援施設に入所中の主に小学生(一部中高生) 2. 主に小学生(一部中高生) 3. 全国の児童養護施設職員、母子生活支援施設職員、児童相談所職員、行政の学習支援担当者等	1. 71 名(4 施設) 2. 1 と同様 3. 157 名(74 機関からの参加)	8,227

日本の子どもたちの現状や、それを取り巻く社会の現状を広域的に周知するための、啓発活動及び広報活動（通称：啓発活動事業）	1. 研修・「Child Issue Seminar」の開催 コロナ感染拡大防止のため、実施見送り 2. 執筆・メディアでの啓発 メディア掲載回数：29 回 ・新聞：4 回（読売新聞、共同通信社、教育新聞 等） ・ラジオ：2 回（文化放送、狛江 FM） ・Web 記事：16 回（NHK、日本経済新聞、日経 BP、神戸新聞社、ビジネスインサイダー 等） ・雑誌・書籍：6 回（岩崎学術出版、KADOKAWA、河出書房新社 等） ・その他：動画『ひとりじゃないよプロジェクト』 3. 講演 講演回数：9 回 主な講演先一覧：日本学術会議、公益財団法人しまなみ奨学財団、オイシックス・ラ・大地株式会社、株式会社メディアジーン、NPO 法人マイフェイス・マイスタイル、みんなのオンライン職員室 等 4. その他 ・文部科学省が運営する「24 時間子供 SOS ダイアル」の全国調査を実施 ・令和 1 年度及びコロナ禍での取り組みを報告するための特設サイト作成 ・コロナ禍での虐待・性被害の増加を踏まえ、「ミーのなやみ」の家族・親戚編（虐待啓発）、恋人・パートナー編（デート DV 啓発）・いじめ編を大人（親・教員含む）向けに啓発	1. なし 2. 通年 3. 通年 4. 24 時間子供 SOS ダイアルは令和 2 年 11 月～3 年 1 月 その他は通年	1. なし 2. 制限なし 3. 制限なし 4. 全国	5 名	1. なし 2. 制限なし（主に大人） 3. 制限なし（主に大人） 4. 制限なし（主に大人）	1. なし 2. 外部掲載なため測定不可 3. 980 人（講演参加者数） 4. ミーのなやみの年間再生回数 23 万回	14,193
---	--	--	--------------------------------------	-----	--	---	--------

（２）その他の事業

（事業費の総費用【 】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費（千円）

令和2年度 貸借対照表

令和3年3月31日現在

特定非営利活動法人3keys

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	7,503,057		
商品	79,543		
未収金	2,636,234		
未収助成金	898,288		
貯蔵品	151,790		
前払費用	3,700,742		
流 動 資 産 合 計		14,969,654	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
建物	298,241		
建物付属設備	2,947,805		
什器・備品	87,648		
		3,333,694	
(2)無形固定資産			
ソフトウェア	5,228,410		
		5,228,410	
(3)投資その他の資産			
権利金	288,750		
保証金	27,765,600		
ユースセンター特定資産	13,926,528		
		41,980,878	
固 定 資 産 合 計		50,542,982	
資 産 合 計			65,512,636
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	4,032,791		
前受金	231,000		
預り金	199,125		
未払法人税等	70,000		
流 動 負 債 合 計		4,532,916	
負 債 合 計			4,532,916
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
前期繰越指定正味財産	3,457,463		
当期指定正味財産増減額	3,345,898		
指定正味財産合計		6,803,361	
2 一般正味財産			
前期繰越一般正味財産	33,560,889		
当期一般正味財産増減額	20,615,470		
一般正味財産合計		54,176,359	
正味財産合計			60,979,720
負債及び正味財産合計			65,512,636

令和2年度 財産目録

令和3年3月31日現在

特定非営利活動法人 3keys

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金	100,998		
三菱UFJ銀行普通預金①	2,584,184		
三菱UFJ銀行普通預金②	2,584,673		
三菱UFJ銀行普通預金③	1,997		
郵便振替 当座預金	2,231,205		
		7,503,057	
商品			
ピアス・イヤリング 他	79,543		
		79,543	
未収金			
ROBOT PAYMENT 他	2,636,234		
		2,636,234	
未収助成金			
休眠預金等交付事業	898,288		
		898,288	
貯蔵品			
切手・図書カード 他	151,790		
		151,790	
前払費用			
賃貸物件保証委託料 他	3,700,742		
		3,700,742	
流 動 資 産 合 計			14,969,654
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
建物	298,241		
建物付属設備	2,947,805		
什器・備品	87,648		
		3,333,694	
(2)無形固定資産			
ソフトウェア	5,228,410		
		5,228,410	
(3)投資その他の資産			
権利金 矢来町事務所賃貸	288,750		
保証金 新宿事務所賃貸 他	27,765,600		
ユースセンター特定資産	13,926,528		
		41,980,878	
固 定 資 産 合 計			50,542,982
資 産 合 計			65,512,636

科 目		金 額		
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金				
スタッフ給与・経費 他	4,032,791			
		4,032,791		
前受金				
学習支援事業 年会費	231,000			
		231,000		
預り金				
源泉所得税 他	199,125			
		199,125		
未払法人税等				
未払法人税等	70,000			
		70,000		
流 動 負 債 合 計				4,532,916
負 債 合 計				4,532,916
正 味 財 産				60,979,720

令和2年度 活動計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人 3keys

(単位:円)

科 目	特定非営利活動に 係る事業	休眠預金等 交付事業	合計
(一般正味財産増減の部)			
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	120,000		120,000
2 受取寄附金			
受取寄附金	52,306,379		52,306,379
3 受取助成金等			
受取助成金	795,000		795,000
受取助成金振替額	26,221,638	898,288	27,119,926
4 事業収益			
学習支援事業収益	792,000		792,000
啓発活動事業収益	442,500		442,500
物販事業収益	47,300		47,300
経常収益計	80,724,817	898,288	81,623,105
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
役員報酬	2,177,280		2,177,280
給料手当	17,889,790	898,288	18,788,078
法定福利費	2,452,457		2,452,457
福利厚生費	124,838		124,838
人件費計	22,644,365	898,288	23,542,653
(2)その他経費			
仕入高	28,056		28,056
広告費	3,106,021		3,106,021
郵送費	466,086		466,086
印刷製本費	344,181		344,181
調査研究費	190,980		190,980
水道光熱費	281,405		281,405
消耗品費	962,589		962,589
支払保険料	157,805		157,805
租税公課	105,460		105,460
渉外費	2,723		2,723
旅費交通費	986,994		986,994
通信費	387,536		387,536
支払手数料	1,615,694		1,615,694
会議費	1,237		1,237
謝金	1,657,632		1,657,632
会場賃借費	1,915		1,915
システム維持費	2,479,235		2,479,235
委託費	11,259,104		11,259,104
教材費	51,861		51,861
家賃	3,329,726		3,329,726
雑費	12,645		12,645
減価償却費	2,527,589		2,527,589
その他経費計	29,956,474	0	29,956,474
事業費計	52,600,839	898,288	53,499,127
2 管理費			
(1)人件費			
役員報酬	414,720		414,720
給料手当	3,578,682		3,578,682
法定福利費	467,137		467,137
福利厚生費	23,781		23,781
人件費計	4,484,320	0	4,484,320

科 目	特定非営利活動に 係る事業	休眠預金等 交付事業	合計
(2) その他経費			
広告費	95,916		95,916
郵送費	18,922		18,922
印刷製本費	264		264
調査研究費	19,350		19,350
水道光熱費	53,603		53,603
消耗品費	130,530		130,530
支払保険料	30,060		30,060
租税公課	21,140		21,140
渉外費	522		522
旅費交通費	197,302		197,302
通信費	70,736		70,736
支払手数料	76,641		76,641
会議費	237		237
謝金	61,178		61,178
システム維持費	187,004		187,004
委託費	872,692		872,692
家賃	634,234		634,234
雑費	2,410		2,410
減価償却費	481,447		481,447
その他経費計	2,954,188	0	2,954,188
管理費計	7,438,508	0	7,438,508
経常費用計	60,039,347	898,288	60,937,635
当期経常増減額	20,685,470	0	20,685,470
III 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
IV 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	20,685,470	0	20,685,470
法人税、住民税及び事業税	70,000	0	70,000
当期一般正味財産増減額			20,615,470
前期繰越一般正味財産額			33,560,889
次期繰越一般正味財産額			54,176,359
(指定正味財産増減の部)			
I 受取寄附金	0	0	0
II 受取助成金	29,567,536	898,288	30,465,824
III 一般正味財産への振替額	△ 26,221,638	△ 898,288	△ 27,119,926
当期指定正味財産増減額			3,345,898
前期繰越指定正味財産額			3,457,463
次期繰越指定正味財産額			6,803,361
次期繰越正味財産額			60,979,720